

平成三十年六月七日 開会
平成三十年六月魚津市議会定例会提出議案

市長提案理由説明要旨

本日ここに、平成三十年六月魚津市議会定例会が開催されるにあたり、市政運営について所信の一端を申し述べますとともに、提案致しました案件について、その概要をご説明申し上げます。

本年四月より、大町、村木、上野方、本江小学校を統合し、「よつば小学校」を開校致しました。統合校のよつば小学校への円滑な移行ができましたのも、保護者や地域の代表者などで構成された統合準備会の委員をはじめ、多くの市民の皆さまや関係各位のお力添えがあったからこそと感謝し、厚く御礼申し上げます。議員各位におかれましても、様々な場面でご協力、ご尽力いただき、心から感謝申し上げます。なお、校舎建設に関しましては、五月中旬から新校舎を使用した授業を開始致しております。五月末からは旧校舎の解体工事を開始しており、今後、グラウンド整備や駐車場整備工事等を行い、十二月中にはすべての工事が完成する予定としております。今後も、急激な少子化が進行する中で、子どもたちにとってより良い教育環境を整備し、教育効果の向上が図れるよう努めてまいります。

続きまして、「最近の市政の取り組み状況」について申し上げます。

去る四月二十二日には恒例の「第三十八回魚津しんきろうマラソン」が開催され、六千二百七十二名の国内外の選手が海沿いのしんきろうロードや市中心街を駆け抜けました。大会当日は、埋没林博物館が記録を取り始めてからの最長記録タイとなる五日連続の曇り空が現れ、大会に華を添えました。出場した選手の皆さまには、神秘的な眺めを楽しみながら心地よい汗を流された方もいらっしゃったのではないのでしょうか。

また、五月二十日には、「第六回よっしゃ来い！！CHOUROKUまつり」が開催されました。地元賑わいと活気を生み出そうと立ち上がった本市の若者有志の頑張りや関係各位のご協力により、天候にも恵まれ、大変な賑わいを見せていました。このイベントは、市民の皆さまへ元気と活力を与えると同時に、市外への魚津の魅力発信による、さらなる交流人口の拡大につながるものと心強く思っております。

次に、特定政策の分野別に、進捗状況と今後の取り組みについてご説明致します。

①まずは、教育環境の充実について申し上げます。

教育環境の充実に関しましては、ふるさと教育の推進を図るための資金に充てることを目的として、「ふるさと教育推進基金」を創設致します。これは、「魚津市ふるさと教育スタンダードプラン」に基づく事業の実施にあたり、賛同いただける企業、市民の皆さまからの寄附を財源として活用するもので、ふるさと教育の推進に役立てたいと考えております。

去る四月十四日に魚津埋没林博物館がリニューアルオープンしました。カフェや蜃気楼ライブモニター、テーマ館の一階に幼児が木のぬくもりに触れるキッズスペース等を整備致しました。魚津埋没林博物館は、ご存知のように、特別天然記念物である埋没林や蜃気楼を学ぶことができる社会教育施設です。今回のリニューアルを機に、学びを通して、観光客だけではなく市民の皆さまにも気軽に立ち寄っていただける憩いの場として利用してもらえればと思っております。

②次に、子育て支援について申し上げます。

子どもの貧困対策と致しましては、平成二十七年三月に策定した「魚津市子ども・子育て支援事業計画」に追加する形で、三月に「魚津市子どもの未来応援計画」を策定致しました。これは、全国的にも子どもの貧困対策の機運が高まっている中で、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることがないように、実態に応じた子どもの貧困対策を総合的に推進するための計画で、「教育の支援」、「生活の支援」、「保護者に対する就労支援及び就労環境の充実」、「経済的支援」、「周知の徹底」の五つの施策を柱としています。今後、本計画に基づき、行政、市民、関係団体等とより一層の連携を図りながら、子どもの貧困に関する施策を推進していくこととしております。

また、保育事業につきましては、公立保育園で実施していた土曜保育を、四月から、市中心部の道下保育園一園に集約して実施致しました。保護者の皆さまにはご不便をおかけする点もあるかと思いますが、年齢に応じた保育の提供や園児の状況に合わせた保育士の配置など、保育体制の充実や急な利用申し込みへの対応を図りました。少子化に伴い、園児数が減少していく中、適正な保育園の配置や望ましい保育環境のあり方を、引き続き検討・推進していきたいと考えております。

③次に、観光振興について申し上げます。

観光振興に関しましては、昨年七月に魚津市産業観光研究会を立ち上げ、産業観光の今後の展開について協議を始めたところではありますが、その取り組みの一環として、昨年十二月に市内で産業観光に取り組んでいる事業所等を視察したほか、三月に産業観光セミナーを開催致しました。これらの取り組みは、今後の本市の産業の強みを生かした産業観光の展開を考えていくきっかけとなったと考えております。

また、本市を訪れた観光客に対し、歴史、文化、食、自然の魅力に加え、地域の観光資源や市全体の地図情報を提供する着地型観光パンフレットを作成しました。また、インバウンド対応として、魚津水族館と魚津埋没林博物館にスマートフォンを活用した多言語音声ガイドを整備致しました。これらによりまして、本市を訪れた観光客への利便性の向上を図るとともに、魚津の魅力をより多くの皆さまに感じていただきたいと考えております。

④次に、産業振興について申し上げます。

産業振興に関しましては、就労支援の一環として三月に「魚津市合同企業説明会」を開催致しました。おかげさまで多数の企業にご参加いただくことができ、本市で働くことのきっかけ作りや優れた人材の確保、ひいては本市への移住、定住の推進につながることを期待しております。

新分野産業育成事業と致しましては、四月に地方創生推進交付金の採択を受け、本議会において補正予算を計上致しておりますが、本年度の取り組みとしましては、ゲーム開発者を育成する「U O Z U GAME BOOT CAMP」や「GAMEサミット」のほか、eスポーツ大会開催を含めた「ゲームフォーラム」など、様々なイベントを開催し、新たな産業の創出に向けた土壌づくりを加速していきたいと考えております。

⑤最後に、魅力的なまちづくりについて申し上げます。

地域おこし協力隊事業につきましては、五月から二名の協力隊員を配置致しました。四月に移住・定住の推進を目的として、地域協働課内に新設致しました「定住応援室」に配置し、本市への移住を検討されている皆さまへの情報提供や相談のサポート、また、既に本市に定住しておられる皆さまへの支援、ネットワーク化を行い、居住される地域の特性に合わせて、地域の皆さまと共に応援できる環境を提供したいと思っております。

続きまして、三月の魚津市議会定例会で付されました平成三十年度魚津市一

般会計予算に関する附帯決議への検討について申し上げます。

本市では、少子高齢化や人口減少、地域活性化など、喫緊の課題に対応するため、まち・ひと・しごと創生総合戦略事業の実施や小学校の統廃合、教育現場のICT環境整備に積極的に取り組んでまいりました。

しかしながら、社会情勢の変動など、本市を取り巻く環境は、大きく変化しております。社会保障関係経費や老朽化した公共施設等の維持管理費が増大する一方で市税収入の伸び悩み、平成三十一年度以降の財政見通しも非常に厳しい状況が見込まれます。

このような背景から、将来にわたって必要な行政サービスを提供していくためにも早期に具体的な財政改善策をお示しし、全職員が共通の認識に立つとともに、更なる意識改革を図りながら、この課題に対応していきたいと考えております。

今後も、市政全般の各方面において、市民の皆さまや議員各位のご支援とご指導、ご協力をお願い申し上げます。

それでは、今定例会に提出致しました議案並びに報告について、ご説明申し上げます。

まず、**議案第四十七号** 平成三十年度魚津市一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に二億二千三百七十五万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ百八十三億三千三百七十五万五千円と致したいのであります。

今回補正するものは、ケーブルテレビネットワーク光化促進事業や地域密着型介護基盤整備事業など、必要欠くことのできないものに限定し、計上致しました。

これらの財源として、国庫支出金、県支出金、寄附金、繰越金及び市債を充当し、一般財源からの支出を極力抑えた予算を編成致しております。

予算以外の議案と致しましては、まず、条例関係の議案と致しまして、**議案第四十八号から第五十四号**まで、魚津市職員の給与に関する条例や魚津市税条例などについて、制定を一件、一部改正を六件提案致しております。

最後に、報告案件と致しましては、**報告第二号から第四号**まで 平成二十九年魚津市継続費繰越計算書などについて三件報告致しております。

以上、本日提出致しました議案並びに報告の説明と致します。

何卒、慎重ご審議の上、議決をいただきますようお願い申し上げます。